

(1)事業の概要等

事業番号	B1501-6
実施計画事業	
実施計画事業以外の事業	○

令和5年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	児童クラブ運営事業 (紙による児童クラブ利用申請事業)					担当部			こども未来部		
	事業期間	平成4年度	～	令和7年度以降			担当課			こども政策課		
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本施策	15	展開方向	1	担当係			子育て支援係		
	予算区分	一般会計	款	3	項	2	目	2	大	2	中	1
	根拠法令・個別計画	児童福祉法、小牧市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例、第2期子ども・子育て支援事業計画					事業種別			法定受託系事業		
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	児童クラブの加入申込みについて、紙ベースでの申込みに加えオンラインによる申込みを可能とし、受付事務の効率化を図る。										
	対象 (何・誰を対象に)	こども政策課と児童クラブの職員、児童クラブ加入申込者										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<p>児童クラブの利用にあたっては、あらかじめ提出いただく加入申込書に基づく利用許可により利用することが可能となる。</p> <p>これまで加入申込みにあたっては、添付書類も多く、紙での申込みのみであり、こども政策課もしくは各児童クラブにおいて職員が対面で受理している。対面で受理することで、職員にとっては保護者及び児童の状況確認ができ、保護者にとっては今後利用することとなる児童クラブ室の状況確認ができるが、こども政策課もしくは各児童クラブにおいて対面で受け取りながらチェックし、そのための人員や対応時間が必要となっていた。(概ね11月～2月初旬)</p> <p>事務のICT化の一例として、令和4年度から、児童クラブ加入申込みの一部(長期休業期分のみ)を試行的にオンラインでの申込みを可能とし、課題の整理を行いつつ、令和5年秋の次年度加入申込み(令和6年度利用分)からオンラインでの加入申込みを本格的に導入する。</p>										
受益者負担	有	<p>通年利用の場合、5,000円/月(8月のみ8,000円/月)。長期休暇利用の場合は春休み(4月)2,500円、夏休み(7月)2,500円、夏休み(8月)8,000円、冬休み2,500円、春休み(3月)2,500円。</p> <p>17時以前の迎えで月額-1,000円、18時01分以降の迎えは月額+1,000円、8時29分以前の利用は月額+1,000円。</p> <p>市民税非課税世帯は半額減免、生活保護世帯は全額減免、また市独自施策として、第2子半額減免、第3子全額減免(複数の減免に該当する場合、最も減免率の高いもののみ適用)。</p>										

(2)事業費

		項目	単位等	R1	R2	R3	R4	R5
直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	422	472	572	594
		国・県支出金	千円	—	—	—	—	
		その他	千円	—	—	—	—	
		計(A)	千円	422	472	572	594	
	対前年比	%	—	111.8%	121.1%	103.8%		
	予算額	千円	693	534	631	631	704	
人件費	正規職員	人	—	—	—	—		
	正規職員(平均賃金)	千円	—	—	—	—		
	その他職員	人	—	—	—	—		
	その他職員(時給×時間)	千円	—	—	—	—		
	計(B)	千円	—	—	—	—		
事業費合計(C=A+B)		千円	422	472	572	594		

(3)業績

展開方向における指標の推移		基本施策		15		展開方向		1	
指標名		単位	方向性	基準値	R2	R3	R4	R5	
1	放課後児童クラブの特機児童数	人	→	0	0	0	0		
2									
3									

指標ほか		単位		R1	R2	R3	R4	R5	
指標	成果指標		目標						
			実績						
	活動指標	オンラインでの加入申込件数	箇所	目標	—	—	—	—	206
				実績	—	—	—	26	
活動指標	登録児童数(各年度3月実績)	人	目標	—	1,829	1,807	1,733	1,662	
			実績	1,922	1,662	1,775	1,776		
単事業あたり	受益者数(a)		人	—	—	—	—		
	受益者あたり事業費(=C/a)		円	—	—	—	—		

(4)事業の評価

事業の方向性	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの
事業の評価	事業の達成状況と課題	<p>児童クラブ加入申込みについてオンラインでの申込みを可能とするため、加入申込書に沿ったオンライン申請フォームを作成し、試行的にオンライン申込み(長期休業分のみ)を実施した。</p> <p>実施した結果、従来の加入申込書に沿ったオンライン申請フォームは、申込時に必要な事項と児童クラブ利用開始前までに必要な事項の両方が含まれていたことから、職員の確認作業や申込時の保護者の入力の際に想定以上に時間を要することが判明した。</p> <p>新1年生を含む新規加入申込者や就労要件以外の方などは、引き続き対面での確認等が必要となるため、従来どおり紙での加入申込みとするが、オンライン加入申込みに合わせ、加入申込書等の記入項目の内容を変更もしくは削減する必要がある。</p> <p>紙ベースでの申込みは定着しており、対面で受け取ることのメリットもあるが、記入すべき書類の枚数やそのチェック項目の数、利用児童の増加による窓口等での対応時間の多さ、書類の保存場所の不足などの課題がある。</p>
	今後の実施内容	<p>オンライン加入申込みにあたり、入力する項目を児童クラブの利用に必要な情報に絞り込むことで申込者の入力時間を短縮でき、実際に児童クラブを利用開始後に必要となる情報は、利用決定後に求める形へと変更する。これにより、加入申込時のチェック項目及びそれに要する時間の削減につながり、また、対面での加入申込書の受理件数が減るため、そのための対応時間の削減も期待できる。加えて、オンライン申込データの一括印刷ツールを新たに設定することで、申込データの帳票出力に要する時間を短縮する。</p> <p>また、これまで継続利用者も新規の方と同様、毎年、加入申込書の提出が必要であったが、今後オンライン申込みに切り替わることで、加入申込書の印刷製本費の削減にもつながる。</p> <p>利用者の利便性向上のためオンライン申込みを導入していくが、こども政策課及び各児童クラブ職員の事務負担をどの程度削減することができるのか、反対に増加することにならないよう、オンライン申込みにより発生する課題を整理しながら進めていく。</p> <p>《参考》 令和5年度 新1年生 541人 新2～6年生 1,527人 令和4年度 新1年生 502人 新2～6年生 1,554人</p>
	事務事業評価による額	<p>181 千円 節 10 細節 4 細々節 1</p> <p>令和6年度 2,500部(新1年生を含む2年生以上の新規加入者他(随時分含)) 令和5年度 3,600部 704,000円(予算) 令和4年度 3,600部 594,000円(実績) 594,000円÷3,600部=165円 165円×(3,600部-2,500部)≒181千円</p>